

大祓祭文

これの仮の神床に暫し御遷座申し上げました、親神天理王命の御前に慎んで申し上げます。

これの天理教 分教会は去る 月二十六日神殿建築の尊い理の御許しを頂き、 月 日に地鎮祭並びに起工式を執り行い、渉外的な事情によりやや延びましたが、工事関係者の並々ならぬ真実の努力により 月 日明るく厳かに上棟式をつとめさせて頂きました、お陰様でその後は工事も順調に捗り 月 日には新しい畳も入り、ほぼ完成を見るに至りましたので、お許し通り 月 日に鎮座祭、翌 日には神殿建築落成奉告祭を一手一つに迎えさせていただきます。

この栄えある両祭典に先立って、その諸準備をすすめる為教会長家族一同が喜び勇んで木の香新しい各部屋に諸道具と共に引越をさせて頂く事に相成りましたが、ここに神床を始め神殿並びに教職舎の隅々、併せて家族一人ひとりに至るまで打ち拂う麻のさやぎのさやくに清々しく祓い清めさせていただきます。

今後は一層互いに立て合い助け合って、形のふしん以上の心のふしんに励んで参りますが親神様にはこれの教会が地域社会の陽気ぐらしひながた道場にふさわしくなりますよう、お導きの程を一同と共に慎んで御願ひ申し上げます。